

免疫チェックポイント阻害薬(ICI) 投与中の患者様への対応について

- 免疫チェックポイント阻害薬(オプジーボ、キイトルーダ、ヤーボイ、テセントリク、イミフィンジ)に見られる免疫関連副作用(irAE)は、殺細胞性抗がん薬などにみられる副作用とは異なります。
- 出現時期、タイミングが予想できないため、長期間投与されている場合、患者様本人がirAEと気付かない恐れがあります。

当院では、irAEの早期発見のために、初回投与は4泊5日の教育入院を行っています。

薬剤師は、詳細な副作用説明と副作用チェックシートを用いて、irAEの自己チェックができるように指導しています。

⇒2回目以降、外来治療へ繋げています。

★来局時に患者様からICI副作用チェックシートを提示された場合は、内容を確認していただき、下記の対応のご協力をお願い致します。

【ICI副作用チェックシート】

	月/日	/	/
	体温(°C)		
	体重(kg)		
	便の回数(回)		
速やかに受診	明らかに咳が増えた		
	息切れ、呼吸の苦しさが強くなった		
	高熱(38°C以上)		
	明らかに疲れやすい		
	だるくて動けない		
日中に受診	視野が狭い		
	視力が落ちた		
	まぶたが重い		
	蕁麻疹		
次程回数外に来よ	ぶつぶつがでた		
	吐き気・嘔吐		
	吐いた(回数)		
	皮膚や白目が黄色くなる		
	体重の増減(kg)		

< 緊急性を要する >
受診を勧める

ちょっとした症状が重篤な副作用の始まりである可能性があります。
遠慮せず、病院に相談してください。

□平日(月～金) 8:30～17:00
☎0721-53-5761 各科外来

※診察予約がない患者さまは、診察受付時間8:30～11:00までにお越しください

□夜間(17:00～翌8:30)・土日・祝日
☎0721-53-5764 救急外来

※主治医は不在ですので、当直医師が対応いたします

※患者様への配布資料一部抜粋

< 緊急性を要さない >
大阪南医療センター 薬剤部
ホームページに掲載されている
トレーシングレポート
(ICI副作用報告用)にて報告